

再評価結果

担当課：有料道路課
担当課長名：上野 進一郎

事業名	北海道横断自動車道 根室線（夕張～十勝清水）		事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自：北海道夕張市紅葉山 至：北海道上川郡清水町字清水				延長	81.6 km
事業概要 北海道横断自動車道は、北海道を東西に貫き、道東・道央地域の連絡の強化を図り、沿線地域の産業、経済、文化、観光等の発展に資する路線である。						
H9年度事業化		H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H13年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費	約2,438億円	事業進捗率	54 %	供用済延長	20.9km	
計画交通量	4,400～4,600台/日					
費用対効果 分析結果	B / C (事業体) 1.4 (残業) 3.2	総費用 (残業)/(事業全体) 1,202 / 2,709 億円 事業費：844 / 2,350億円 維持管理費：359 / 359億円	総便益 (残業)/(事業全体) 3,854 / 3,854億円 走行時間短縮便益：3,333 / 3,333億円 走行経費減少便益：418 / 418億円 交通事故減少便益：103 / 103億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動： B/C = 3.5 (交通量 +10%) B/C = 2.9 (交通量 -10%) 事業費変動： B/C = 3.0 (事業費 +10%) B/C = 3.4 (事業費 -10%) 事業期間変動： B/C = 3.3 (事業期間 -1年) B/C = 3.1 (事業期間 +1年)						
事業の効果等 拠点都市間を連絡し、相互の連携が強化される 高度な医療施設までの搬送時間が短縮される 農林水産品の流通の利便性が向上する 他13項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 札幌を中心とする道央圏と道東地域の間は、標高2,000m級の日高山脈により東西に分断されている。この分断を解消し、道東地域と道央圏を接続し、地域間の連携や交流を促進するうえで必要である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成19年10月にトマム～十勝清水間が開通。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在工事中。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も引き続き工事の推進を図る予定。						
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						
対応方針	継続事業					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。